

<平成 25 年度>

土木部の運営方針

土木総務課 公園みどり課
道路管理課 交通対策課
道路補修課 用地課
道路整備課

■基本情報■

<担当事務>

- (1) 道路及び交通に関すること。
- (2) 公園及び緑化に関すること。
- (3) 河川に関すること。

<部の職員数>H25年4月1日現在

正職員	116名
再任用職員	12名
任期付職員	-名
非常勤職員	1名
合計	129名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■基本方針■

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤の整備や緑化の推進、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発などに取り組みます。

事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加えて選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めていきます。

平成 25 年度は、JR 長尾駅橋上駅舎が 2 月に開設されたのに続き、駅前広場を完成させ、バスや自動車、歩行者など輻輳する交通の安全性の向上を図ります。



長尾駅前広場整備事業 完成イメージ

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備

平成 24 年度に事業着手となった新名神高速道路の整備を促進するとともに、そのアクセス道路となる都市計画道路・内里高野道線及び淀川を渡河する新橋の整備に向けて、国・府への働きかけを強めます。

安全で円滑な交通体系を構築するため、交通結節点である鉄道駅周辺において、長尾駅前広場を平成 25 年度中に整備するとともに、津田駅東口駅前広場の整備に向けて関係機関との協議を進めます。また、都市計画道路の枚方藤阪線や御殿山小倉線、牧野長尾線などの整備を計画的に進めます。

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所を早期に発見し、迅速な対応に努めています。

さらに、安全で快適な道路環境の保持並びに効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業や道路照明の LED 化に取り組むとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕及び耐震化や公園施設長寿命化計画の策定に取り組みます。

また、昨年 8 月の集中豪雨等を受けて、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等の整備・修繕に取り組みます。

◆公園の整備と緑化の推進による緑豊かな都市環境の創造

人と自然との共生を図るとともに、防災機能を持った公園として、東部スポーツ公園の平成 26 年度野球場開設に向け造成工事を行います。また、星ヶ丘公園の自然林部分を含めた区域拡張のため、計画的に用地取得を行うとともに、津田駅東地区周辺整備の一環として公園を整備し、憩いとやすらぎの場を創出します。

市民や事業者とともに緑化を推進し、ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の形成など、みどりあふれる魅力的な都市づくりを進めます。

◆安全・安心な交通環境の創出

人にやさしく安心な交通環境の創出のため、バスロケーションシステムによる路線バス発着情報パネルを枚方市駅に整備するとともに、平成 26 年度の村野駅バリアフリー化に向け取り組みます。

また、通学路などにおける安全な歩行空間の確保を図るため、JR 学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組むとともに、車両の安全で円滑な通行のため、宮之阪 3 丁目東交差点の改良整備を進めます。

自転車の安全利用をはじめとする交通ルールやマナーについて、小中学校における交通安全教育など広く普及啓発を図るとともに、道路の整備にあたっては、安全な自転車通行空間の創出に向けた検討を進めます。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。

33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応並びに災害時におけるセーフティネットの確保などの観点も含め、技能労務職員の配置について検討を進める。
37. 指定管理者制度の導入拡大	スポーツ施設について、平成 26 年度の指定管理者制度の導入に向けて検討を進める。
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全に取り組むとともに、特別会計の運営のあり方について検証を行う。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
道路施設維持管理事業	道路陥没等の補修依頼への迅速な対応に努めるとともに、橋梁等道路施設の長寿命化に取り組む。
都市公園等維持管理事業	委託とともにスポーツ施設への指定管理の導入など、効率的な維持管理に取り組む。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆部の予算は、平成 25 年度当初予算ベースでは前年度比 87.8%ですが、国の経済対策で追加された平成 24 年度補正予算を含めると 101.2%となります。
- ◆維持管理に係る経費は前年比 100.9%ですが、道路照明の LED 化をリース方式で実施し、初期投資と電気使用量を抑えるなど、経費の低減に取り組みます。
- ◆建設事業では国の交付金等を最大限に活用し、橋梁等の長寿命化や耐震化を図るとともに、重点化しながら道路・公園等の整備に取り組みます。
- ◆国の経済対策で追加された交付金等を積極的に活用し、主要道路リフレッシュ事業をはじめ、4 億 3600 万円の事業を実施します。

事業経費 (単位：百万円)

	維持管理	建設事業	計
H25 当	1,023	1,842	2,865
H24 補	—	436	436
計	1,023	2,278	3,301
H24 当	1,014	2,249	3,263
前年比	100.9%	81.9% 101.3%	87.8% 101.2%

- ・維持管理：道路・公園・河川等の補修や管理に係る経費
- ・建設事業：道路・公園・河川等の新設や改築に係る経費
- ・H24 補：国の経済対策により H25 に繰越
- ・前年比：上段 H25 当/H24 当
下段 (H25 当+H24 補) /H24 当

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備改善から維持管理まで一貫して所管する部として、よりいっそう各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を行いながら、いっそう充実した態勢を整えます。

- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。
- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信していきます。
- ◆情報をわかりやすく正確に伝える手法としてホームページは有効であることから、市民の方々への周知や普及啓発など積極的に活用するとともに、部内各課のホームページの充実を図ります。
- ◆工事に際しては、現場の仮囲いに完成予想図や計画平面図を掲示したり、一部をスケルトンにして工事の進捗を見ることができるようにするなど、市民の皆様の事業に対する理解を深めます。



土木部では円滑な道路交通を確保するため、道路パトロールに努めています。